

ム補助可決 全員賛成

第2回定例会は6月10日から20日までの11日間で開会した。議案9件、報告4件、陳情4件、発議1件が審議された。

当初予算に計上の「住宅リフォーム補助金」が受け付けと同時に予算額以上の申込みがあり、補正予算案が提出され、全員賛成で可決した。

また、東日本大震災復興財源を確保するため、特別職の職員等で常勤の者及び職員の給与を減額する条例が提出され、賛成多数で可決した。

陳情案件は、杭谷氏の彫刻を「寺町公園」へ設置する要望に対し、反対多数で不採択となった。

住宅 リフォーム 補正予算可決

住宅環境の向上と3世代同居の支援目的で、25年度の当初予算に住宅リフォームの補助金450万円が計上された。予想以上に好評で1日目で予算に達したため、第2次として補正予算960万円を追加提案され、議会は全員賛成で可決した。3世代同居を願い、孫と一緒に生活することで子育てができることが目的である。

仮称インフォメーション センターの計画は

広域観光推進実行委員会内にワーキング部会を設け、町と観光協会、商工会、飲食組合などが協議して計画を立てる。「道の駅」の申請を行い、町内の観光消費が増えるように、アンテナショップの導入も考えている。維持管理費は約2500万円を予定。物販、利用料で1500万円の収入を試算しているが、今後協議し方向性が出れば報告する。一般的な「道の駅」のような物販はせず、

宣伝・交流が主体で、物販は期間限定で行いたい。情報を発信し町内の施設の周遊につなげたい。

施設の場所などが新聞報道されたが、議会が意思決定したものはないとこの意見が出た。

町は、3月の全員協議会で説明し、次の産業建設常任委員会に資料を提出し、趣旨・構想的なものは、すでに説明したとの見解である。

今後も、町の説明を

十分に受け予算措置を決定したい。

広域観光推進実行委員会への県の予算は6225万円で、インフォメーションセンターの実施設設計などの予算は5400万円であるとの説明を受けた。引き続き調査を行うこととした。



補正予算 住宅リフォーム

給与削減可決

東日本大震災復興財源の確保に対し、国より各自治体へ給与減額措置を要請されたため、特別職の職員で常勤の者及び職員の給与を平均約4.3%を特

例期間（25年7月1日から26年3月31日）に減額する条例を可決した。これにより国家公務員給与と比較した^{※1}ラスパイレス指数は100%となる。

世羅大型公園建設への要望

賛成・反対

賛成討論

徳光 義昭

我が町が、生んだ世界的彫刻家の杭谷一東氏の作品を出身地に配置し、未来永劫に残すことが必要だ。どこにも通用する町のシンボルが、今はないと思う。他に真似ができない彫刻が杭谷氏の作品ではないかと思う。是非町に置いてほしい。位置は考える余地があるが、是非この作品を町から出すことのないようお願いし、賛成の討論とする。

反対討論

仲行 洋

杭谷氏の実績は認めるが、町内全般には認知度は低い。寺町公園を建設することにも賛否がある中、今必要なものか、費用をかけて設置するのは住民には理解が得られないので、反対討論とする。

賛成討論

福田 義人

杭谷氏の作品を、いつ、どこに設置するかを考えるのは今しかない。尾道松江線開通を控え、世羅町出身の杭谷氏の作品を世羅に集め、鑑賞目的の観光客確保にも繋がる。大切なのは、芸術はその人の人生そのものだ。杭谷氏の作品を、町の発展につなげたいという思いから寺町公園に設置を要望したものである。予算や場所は考える余地があるものの賛成討論とする。

※1 ラスパイレス指数 = 国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したもの